

平成 27 年度の主なごみ減量啓発活動の実績について

1 事業系ごみの減量啓発

(1) 東北六魂祭開催前および忘・新年会シーズンに、宿泊施設や飲食店を集中的に訪問し、食べ残し等ごみの減量啓発「もったいないアクション」への協力を依頼しました。今年度 1 月末までに、132 事業所を訪問し、ポスターの掲示約 157 枚、啓発ポップ約 908 個の設置の協力を得ることができました。

(2) 多量排出事業者への訪問指導の際、事業所内への雑がみ分別箱の設置および全従業員への「ごみ減量お試しセット（啓発ミニチラシ、雑がみ分別袋、生ごみ水切りネット等）」配布の協力を依頼しました。4～10 月で 117 事業所を訪問し、雑がみ分別箱 417 個の設置、従業員延べ 5,376 人へお試しセットを配布し、事業所内におけるごみ減量の意識の向上に合わせて、従業員が家庭に戻った際の、家庭ごみの減量の意識の向上も図ることができました。



(3) 11 月に多量排出事業者の管理責任者研修会を開催し、本市の事業系一般廃棄物の現状を説明の上、更なる適正分別・ごみ減量について依頼しました。また、多量排出事業者のごみ減量の取組に対するモチベーションアップにつながるよう、表彰事業者制度についても積極的に PR しました。(54 事業者出席)

2 家庭ごみの減量啓発

(1) 「食材全部食べきることで生ごみを減らす」ことを目的に、余った料理を変身させるリメイクレシピや、大量にもらった野菜を使いきるアイデアなどを市民から募集し、斬新なアイデアいっぱいの「食べきりアイデアレシピ集」を作製しました。レシピ集は、今後の啓発活動に活用していきます。

(2) そのほか、にぎわい交流館におけるごみ減量アクションや、家庭で手軽に取り組める生ごみ堆肥作り講座の開催、子育てイベント時のキャンペーン、町内会等へ出向いてのごみ減量説明会など、機会を捉えて、幅広い世代への啓発に努めています。

【今年度 1 月末現在の実績】

・ごみ減量アクション	開催	3 回	参加	1,268 人
・各講座、ごみ減量説明会		37 回		510 人
・キャンペーン		13 回		3,779 人

(1 月末現在合計) 53 回 5,557 人